

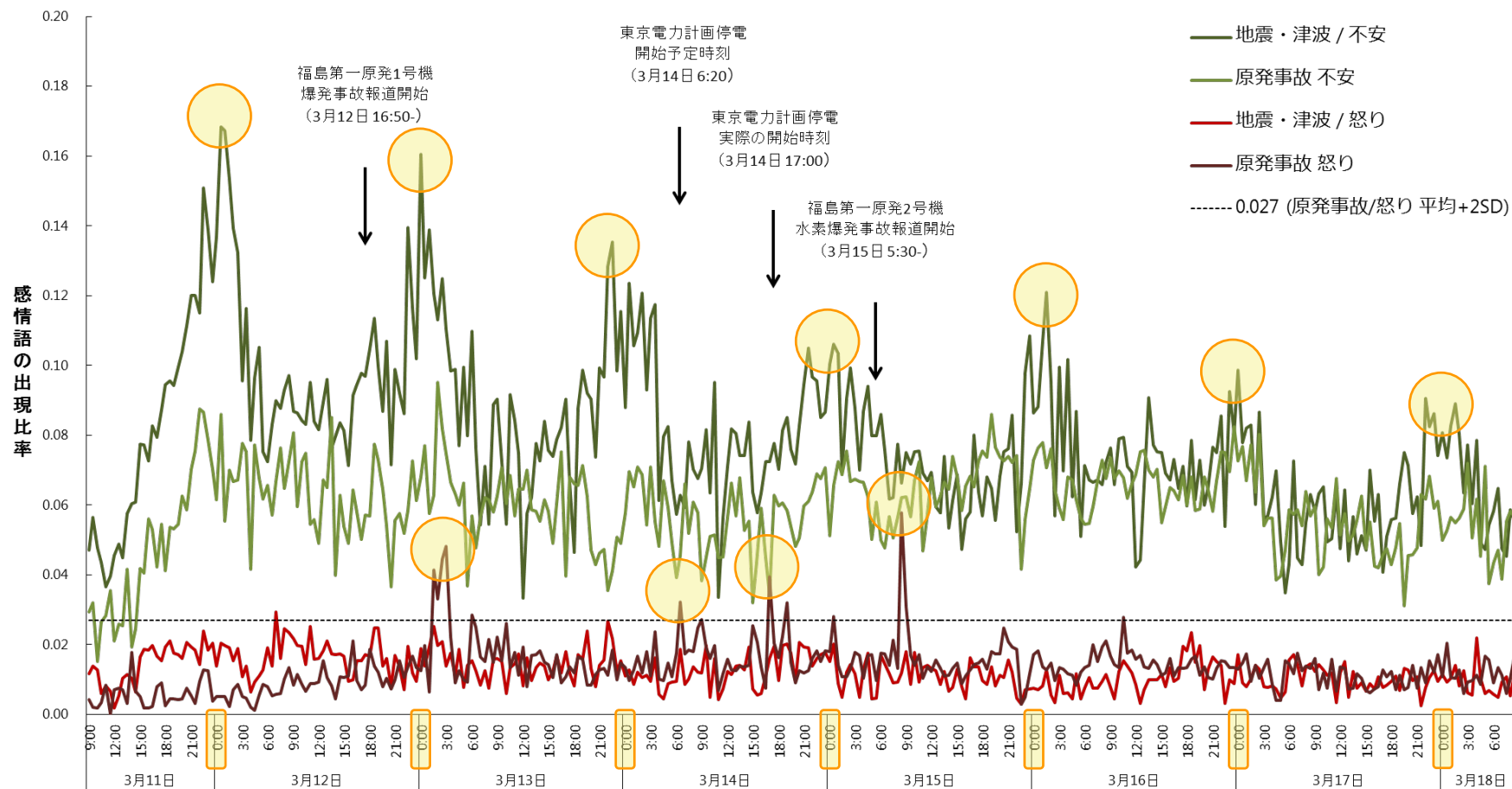
私たちはどうして間違えるのか：世界の多様性をデータから理解する

三浦麻子（大阪大学大学院人間科学研究科）

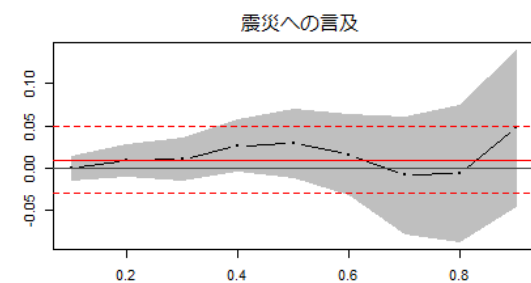
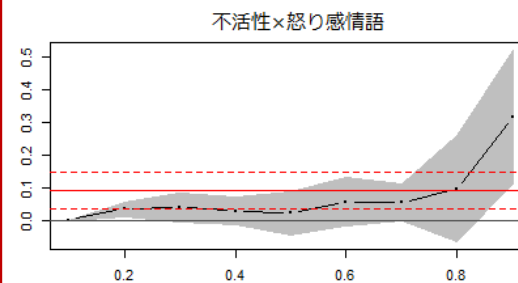
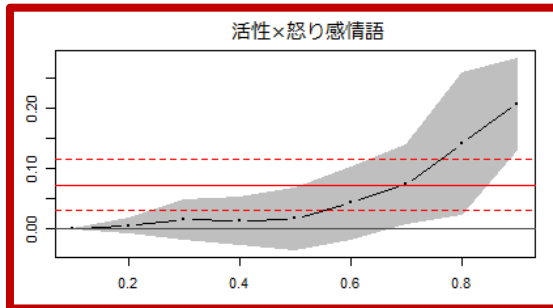
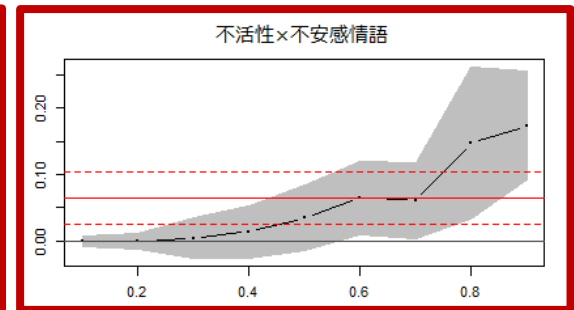
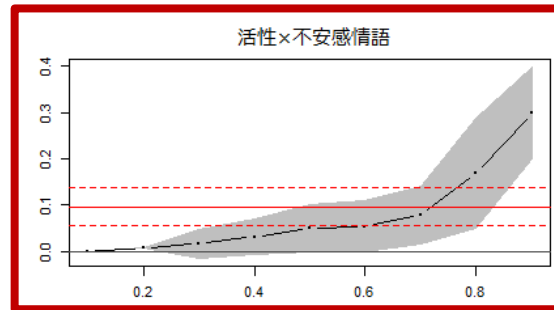
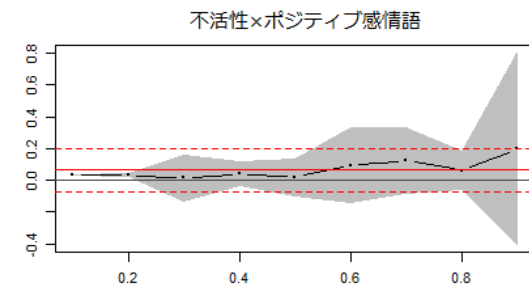
災害時の情報行動研究

- 東日本大震災直後の日本語ツイートを対象とした計量テキスト分析
- 災害関連ツイートにおける感情表現の変化
 - 地震や津波に対する不安は、深夜を頂点として周期的に増減
 - 原発事故に対する怒りは、関連する出来事に敏感に反応
- 災害関連ツイートの拡散性を規定する要因
 - 爆発的な拡散を生むのは、災害の内容よりも強い不安や怒り感情の表現

災害時の情報行動研究



災害時の情報行動研究

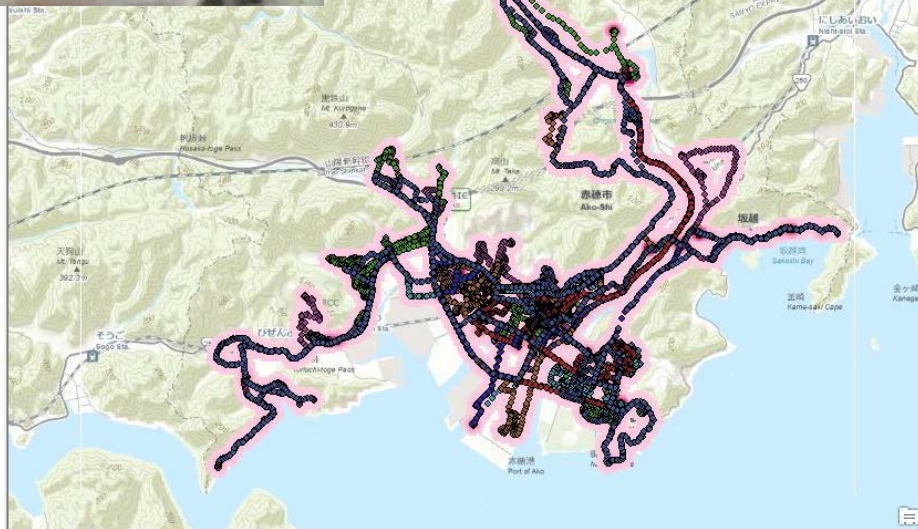


怒りや不安が強く表出される感情語が多く含まれるツイートは非常に拡散しやすい

市長選研究

- 有権者の投票行動を規定する要因を探る研究
- 2015年1月の兵庫県赤穂市長選挙で,
 - スマホのGPSアプリである候補者の選挙運動（移動情報・運動内容）を全て記録
 - 投票直後に有権者対象のアンケート調査を実施

市長選研究



朝日新聞 2017年4月17日 夕刊 2ページ 東京本社

選挙カーで名前を連呼

得票に効果 好感度は変わらず

関学大が調査

選挙力で名前を連呼しても候補者の好感度は上がらないが、得票にはつながる――。関西学院大のグループが、市長選の候補者に密着して集めた活動のデータと有権者へのアンケートを分析したところ、こんな結果がわかった。専門誌「社会心理学研究」電子版で発表した。三浦麻子教授（社会心理学）らは、2015年の兵庫県赤穂市長選で、3人の候補者のうち、1人の男性候補者の選挙力に同乗し、携帯電話のアプリで位置情報を10秒ごとに記録。有権者には、投票した候補者や自宅の住所、各候補の好き嫌いなどを尋ねる調査用紙を2千人に送り、約900人から回答を

分析すると、名前を連呼している最中の選挙力者が通った場所に自宅が近い人ほど、この男性に投票した人が多かった。選挙力者が自宅のすぐそばまで来た人が男性に投票した割合は平均の約2倍で、1¹離れた場所の人は約6分の1だった。一方、近くても遠くても男性への好感度は変わらなかった。

興味がなくても繰り返し援する²と次第に好きになる現象は「単純接触効果」と呼ばれ、選挙にも影響するとみられてきた。三浦さんらは、好感度と得票が必ずしもつながっていないと分析。「有権者は候補者の名前を頻繁に聞くことで『熱心だ』とは思っ³のかもしれない」と話している。

（小宮山亮磨）

（小宮山亮磨）

© 朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

人間の行動を規定する関数

BY KURT LEWIN

$$B = f(P, E)$$

行動

Behavior

関数

function

個人

Person

環境

Environment

行動：「心」の中身や動きが外に現れたもの（表象）

個人：個人の内的な特性要因（性格や能力など）

環境：その個人を取り巻く環境要因（状況や生活環境など）

認知的バイアス（錯思）

COGNITIVE BIASES

- 人間は、客観的に正しいもの（真実）よりも主観的に受け入れやすいものの方を、「正しい」と見なしやすい
- それを「正しい」と見なす方が自分にとって（少なくとも短期的には）「都合がいい」ものを信じやすい
 - 「都合がいい」とは、心理的な負荷が少ない、生活しやすい、といった意味
- 認知的バイアスが生じることで社会問題にまで発展するケースもある一方、それがあつことで不要な不安や落ち込みを防ぎ、平常心や自己肯定感を保ててもいる

確証バイアス CONFIRMATION BIAS

- 物事を吟味するときに、自分の主張を後押しするような情報を集めやすい傾向

ここに4枚のカードがあります。どのカードにも片面にはアルファベット，もう片面には数字が書かれています。

(R) (j) (5) (2)

「片面が大文字なら，もう片面には奇数が書かれている」という規則が正しいかどうかを判断するために，最低限どのカードをめくる必要がありますか？

Wasonの4枚カード問題

出典：「錯思コレクション」

http://www.jumonji-u.ac.jp/sscs/ikeda/cognitive_bias/cate_d/d_06.html

確証バイアス CONFIRMATION BIAS

- 物事を吟味するときに、自分の主張を後押しするような情報を集めやすい傾向

ここに4枚のカードがあります。どのカードにも片面にはアルファベット、もう片面には数字が書かれています。

(R)

(j)

(5)

(2)

「片面が大文字なら、もう片面には奇数が書かれている」という規則が正しいかどうかを判断するために、最低限どのカードをめくる必要がありますか？

多くの人は、示された規則を支持するカードをめくろうとする

確証バイアス CONFIRMATION BIAS

- 物事を吟味するときに、自分の主張を後押しするような情報を集めやすい傾向

ここに4枚のカードがあります。どのカードにも片面にはアルファベット、もう片面には数字が書かれています。

(R)

(j)

(5)

(2)

「片面が大文字なら、もう片面には奇数が書かれている」という規則が正しいかどうかを判断するために、最低限どのカードをめくる必要がありますか？

規則を支持する情報だけを集めても、真実にはたどりつけない
規則に反する情報を探索しないと、真実は確かめられない

確証バイアス CONFIRMATION BIAS

- 物事を吟味するときに、自分の主張を後押しするような情報を集めやすい傾向

Xさんは「血液型と性格には関連がある」という風説を信じています。

Xさんは、初めて会ったYさんの血液型がA型であることを知りました。

Yさんとやりとりをしていると「A型っぽいとされる言動や振る舞い」が多く目につきます。

Xさんは「やはりA型の人にはA型っぽい言動や振る舞いをするなあ」と風説への確信をより深めました。

確証バイアス CONFIRMATION BIAS

- 物事を吟味するときに、自分の主張を後押しするような情報を集めやすい傾向

Xさんは「血液型と性格には関連がある」という風説を信じています。

Xさんは、初めて会ったYさんの血液型がA型であることを知りました。

Yさんとやりとりをしていると「A型っぽいとされる言動や振る舞い」が多く目につきます。

Xさんは「やはりA型の人にはA型っぽい言動や振る舞いをするなあ」と風説への確信をより深めました。


多くの人は、自分の信じる主張を支持する証拠を集めようとする

確認バイアス CONFIRMATION BIAS

- 物事を吟味するときに、自分の主張を後押しするような情報を集めやすい傾向


	A型	A型以外
A型っぽいと される振る舞い		
A型っぽいと されない振る舞い		

ある主張を支持する情報だけを集めても、真実にはたどりつけない
ある主張に反する情報を探索しないと、真実は確かめられない



ソーシャルメディアによる 情報の拡散

- 「デマやフェイクニュースの拡散が問題」とよく言われる
- 客観的な正しさはどうあれ、主観的に受け入れやすいものが拡散しやすい
 - 「虚偽情報だから拡散しやすい」わけではない
- そもそも主観的な受け入れやすさが高いような内容に調整された上で発信される虚偽情報が「デマやフェイクニュース」



私たちが知っておくべきこと できれば努力すべきこと

- 人間に認知的バイアスがあるのは確か
- 人間が現実を捉えるまなざしは個人や環境によって異なるし、それは、少なからず現実を正しく反映しない「誤り」である場合もある
- これらのことを各人が自覚することは大切

マスメディアに 努力していただきたいこと

- そもそも私たちが現実を理解するために入手できる情報（例えばマスメディアの報道や政府機関による発表）などがそもそも「偽」である場合が多くなってはいないか？
- つまり，そもそも「（正しいはずの）情報を正しく受け取ればいいのに受け取れないというバイアス」の「正しいはず」という前提が崩されてしまっているのではないか？
- 人間は案外賢くない，という気づきは大切だが，マスメディアが努力すべきことは，その原因の探求よりもむしろ，「正しいはず」という前提をきちんと守ったり，あるいはそれを守らないケースを精査・指弾することの方ではないか